

「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」を目指して

スタディ・ホーム

～生活習慣の一層の向上へ～

「令和3年度さいたま市学習状況調査」の結果より

児童生徒
保護者向けリーフレット

さいたま市では、子どものよい点を伸ばし、課題を解決するために、小学校第1学年から中学校第3学年までの児童生徒を対象に実施している「さいたま市学習状況調査」の結果を分析し、確かな学力の向上や望ましい生活習慣の確立等に役立てています。

ご家庭におきましては、お子さんと日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の仕方について話し合う際に、「学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)」と併せて、本リーフレットをお役立てください。

社会が大きく変化する中で、学力向上のために、
家庭ではどんなことができるのかな？



全国学力・学習状況調査の結果から、学力と相関関係がみられる学習
状況や生活習慣が示されているよ。そこがヒントになるかもね。



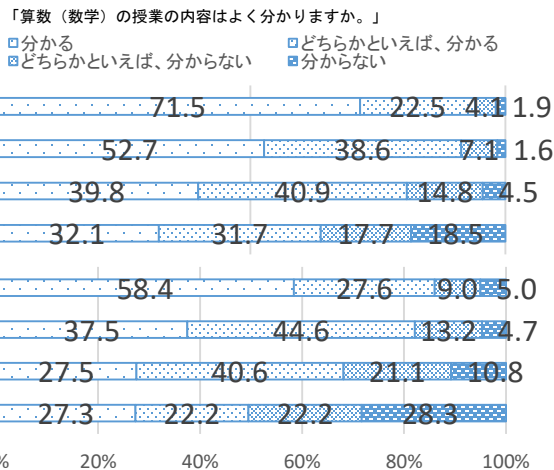
全国学力・学習状況調査の結果と併せて、
小1～中3までの学習状況や生活習慣の状況を確認しよう。

結果分析から、家庭でもできることを考えていこう。

裏面へ



「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。」（縦軸）と「算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか。」（横軸）のクロス集計について



R3市調査

小6

中3

「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。」

他の教科でも同じような結果がみられました。このことから、様々なことに挑戦していく機会や環境が大切と考えられます。

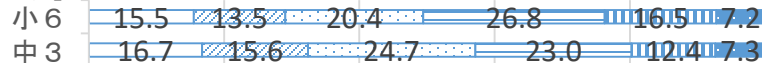
「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか」について肯定的な回答をした児童生徒ほど、「算数（数学）の授業の内容が分かる」と回答している傾向がみられた。【令和3年度さいたま市学習状況調査より】

R3全国調査

R3市調査

Point

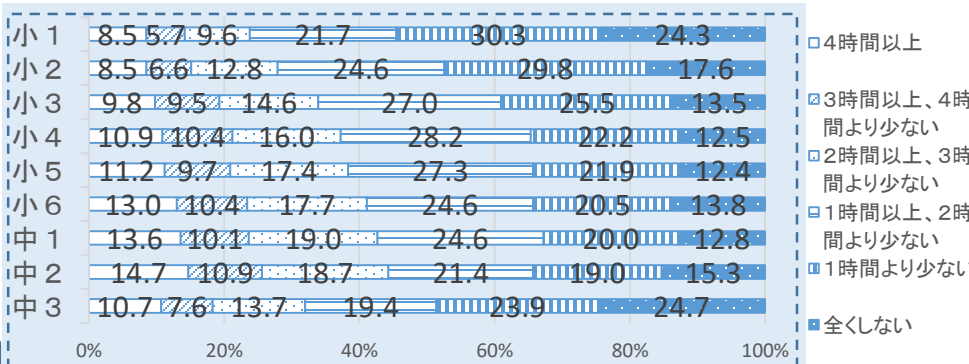
「普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしますか。」について



全国（公立）の児童生徒の回答



令和3年度全国学力・学習状況調査報告書では、1日あたり1時間以上テレビゲームをする児童生徒は、増加傾向であることが報告されました。さいたま市の子どものたちの結果も掲載しますので、お子様の状況を照らし合わせてみてください。



令和3年度全国学力・学習状況調査報告書では、普段、テレビゲームをする時間が短い児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向がみられることが報告されました。

学力向上には、難しいことでも挑戦していくことがカギになります。そのために、失敗をおそれないようにすることが大切です。

家庭でも、成果や結果ばかり求めないようにして、子どもが取り組んだ過程やプロセスを認めていきましょう。

学習については自信がなかったけれど、大人から学習過程やプロセスを認められると、学習に自信がわき、楽しい。

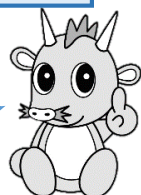
家庭でできること（例）

- 子どもがやりたいことを、応援している。
- 子どもが考えていることを最後まで聞き、話し合っている。
- 子どもの成果や結果だけで判断せず、途中経過やプロセスを大切にしている。
- 興味のある情報だけでなく、様々な情報に触れる機会を与えている。（新聞や本等）
- スマートフォンやパソコン等を利用するルールを子どもと決めている。

家庭で、テレビゲームの使用時間やルール等の見直し・確認をしてみよう。

キーワードは「褒める」「認める」「励ます」

大切なのは、自分の学習や生活習慣を振り返り、改善できるようにすることです。具体的な目標を設定して実践し、よりよい生活習慣等を身に付けていきましょう。保護者の方は、お子さんの生活習慣等が改善できたときに、褒めたり、認めたり、励ましたりする声掛けをお願いします。全国学力・学習状況調査のさいたま市の結果やさいたま市学習状況調査の結果については、さいたま市立教育研究所Webページの調査研究事業「学習状況調査」に掲載しております。併せて、ご覧ください。



全国の調査結果

国立教育政策研究所 検索



さいたま市の調査結果

さいたま市立教育研究所 検索